

テーマ：脳梗塞治療の最前線

TIA・軽症脳梗塞の 診断と治療up date

座長：坂井文彦 先生
北里大学 医学部 神経内科

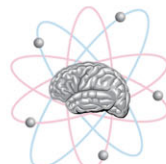
演者：岡田 靖 先生
独立行政法人国立病院機構九州医療センター
脳血管センター脳血管内科

日時：平成19年5月18日（金）
12:00-12:50

会場：名古屋国際会議場

第2会場（レセプションホール東1号館 4階）
〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1-1 TEL：052-683-7711

共催：第48回日本神経学会総会
日本脳神経核医学研究会
富士フイルムRIファーマ株式会社



JCNN

FUJIFILM
富士フイルム RIファーマ株式会社

テーマ：脳梗塞治療の最前線

TIA・軽症脳梗塞の診断と治療 up date

岡田 靖 独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター脳血管センター 脳血管内科

近年、わが国では高齢化、食生活の欧米化に伴い、頭頸部の閉塞性血管病変を有する虚血性脳血管障害患者が増加している。とくに血行力学的機序による虚血性脳血管障害(TIA、アテローム血栓性脳梗塞)では、その治療戦略において脳血流の評価が非常に重要である。われわれの施設では、内頸動脈閉塞に対するEC-IC bypass術の適応決定のほか、無症候性の頸動脈高度狭窄病変の外科治療を、内科医として積極的に推奨するのか、それとも消極的に推奨するのかなどの判断に脳血流検査結果を利用している。また併存する冠動脈・末梢血管病変に対する複合的な血行再建術の治療戦略の決定などにおいても脳血流評価を参考にしている。頸動脈内膜剥離術、頸動脈ステント留置術後の過灌流の予測因子にも術前の血行動態評価は有用である。本セミナーでは、神経内科医に必要な脳血管障害の血流評価の話題を中心に自験例、多施設共同研究の結果なども交えながら解説する。

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

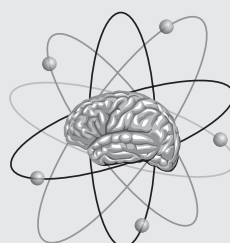
研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F
日本コンベンションサービス株式会社内
E-mail: infojcnn@convention.co.jp
Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN